

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和6年5月20日

事業所名 ステップサポートなかがわ

保護者等数(児童数):18(18) 回収数:16 割合:88%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16					・今後もその都度、環境設定の見直しを行っていきます。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	12	1		3	・多職種の方がスタッフとして所属されており、安心できます。	・これからも継続していきます。
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	3		3	・入口と廊下には手すりがありません。 ・肢体不自由児でも特に不便はありません。	・今後もより良い設備等の検討をしていきます。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	16					・これからも継続していきます。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	16				・毎回飽きないように考えており、子どもも楽しく活動に参加しています。	・これからも継続していきます。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	3	7		・現在行っていません。
保護者 への 説明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	16					・これからも継続していきます。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	16				・連絡帳やLINEなど積極的に活用され、タイムリーに情報交換ができています。	・これからも継続していきます。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	16				・対面の都合がつかない時でも電話等で対応してもらっています。	・これからも継続していきます。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか		3	6	7		・今後実施に向けて検討していきます。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	2		4	・なにかあった時にはすぐに情報を頂き、対応をしてくださるので安心です。	・苦情があった場合には速やかに対応させていただきます。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15			1		・これからも継続していきます。
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	12	1		3		・SNSにて活動の様子を発信しています。
	14	個人情報に十分注意しているか	15	1				・これからも十分に注意していきます。
非常時 等の 対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	14			2		・これからも継続していきます。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13			3	・活動で避難訓練を行っていることもあり、家でも頭を抑えたり、口を隠す姿があります。	・毎月、非常災害を想定した避難訓練の実施や防災学習を取り入れています。
満足 度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	16				・学校に行けない日でもデイへの通所はできています。 ・利用日以外でも事業所の話をしても楽しんでいます。	・今後も楽しんで通所してもらえるように努力していきます。
	18	事業所の支援に満足しているか	16				・とても満足しています。	・今後も満足していただけるように努力していきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和5年5月20日

公表: 令和6年5月20日

事業所名: ステップサポートなかがわ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・適切です。	・引き続き適切な環境を維持していくために、物の配置や環境設定に配慮し、支援を行ってまいります。
	2	職員の配置数は適切である	○		・適切です。	・配置数の他にも、同性介助などに配慮して勤務の調整をしています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		・建物内部はバリアフリー対応です。	・外部においてはスロープの追加など環境改善を検討していきます。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		・毎日朝礼終礼を実施し、情報共有や業務の改善に努めています。	・参加した職員全員が意欲的に発言できるように、今まで以上に開かれた職場環境を整備してまいります。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・毎年実施しています。	・保護者等の意見を把握し、業務改善に取り組んでいきます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		・毎年実施し、自社のホームページ及び名古屋市子ども発達支援サイト「すてっぷサポート」にて公開しています。	・これからも継続していきます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・行っておりません。	・導入に向けて検討中です。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・社内外で研修を行っています。	・これからも定期的に研修を行い、職員の資質向上に努めていきます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		・モニタリングや支援会議の実施の上で作成しております。	・これからも継続していきます。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		・アセスメントシートを利用し、子どもの状況を把握しています。	・毎年アセスメントシートの内容を確認し、その都度適した項目か検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・立案はスタッフ全員で行い、最終的に担当者が案をまとめています。	・利用者の興味関心やスタッフの得意な分野などからプログラムの立案をしています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・固定化しないよう、プログラムの改善やスタッフの意見を取り入れています。	・利用者の興味関心の幅が広がるように、プログラムの改善や新しいプログラムの導入を随時検討しております。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・学習、工作、運動など様々な支援ができるようにプログラムを設定しています。	・活動の中でも、利用者の課題に合わせて難易度の調整をしています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		・個別活動と集団活動を組み合わせで作成しています。	・これからも継続していきます。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎日の朝礼にてその日の活動内容や利用者の支援について話し合い、確認しています。	・これからも継続していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・毎日の終礼にてその日の支援の振り返りや、気になった利用者の姿についてなどを共有しています。	・共有するだけではなく、利用者の問題行動などがあつた時には対応や改善策を考えていきます。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・終礼で話し合った内容をその都度記入し、記録に残しています。	・これからも継続していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		・6ヶ月に一度、モニタリングを実施し、計画内容の見直しをしています。	・利用者の特性を理解した上でサービス計画を立案できるよう、努めてまいります。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		・ガイドライン総則の理解を深める活動を行っています。	・総則の基本活動の理解によって、より良い基本活動を行えるため、全スタッフのより深い知識と理解に努めてまいります。

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・これからも継続していきます。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		・送迎時に子どもの様子を聞いたり、お伝えすることもあります。 ・送迎の都合で時間が前後する場合には、事前に連絡しています。	・これからも継続していきます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○	・現在医療的ケアが必要なお子さんをお預かりしています。	・今後利用があった場合に備えて情報を集めていきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	・事業所では直接取り組んでいませんが、相談支援員を通して情報共有をしています。	・必要に応じて行います。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	・現在は行っていないが、必要があれば行っていきます。	・学校や障がい福祉サービス事業所等との情報共有をし、スムーズに行えるように準備していきます。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	・現在は行っていない。	・今後スムーズな連携ができるように環境を整備していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	・現在はそういったプログラムは企画していません。	・現状そのような機会はありますが、今後児童館へのおでかけなどのプログラムを検討しています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○	・多忙のため参加できていません。	・今後仕事を調整して、積極的に参加していきたいと考えています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・連絡帳や送迎時の会話を通して保護者と情報交換をし、利用者の理解を深めています。	・これからも継続していきます。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○	・集団のプログラムとしては行っていないが、個別の相談に応じ、支援しています。	・保護者の方に参加いただける勉強会などの実施も検討していきます。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明をしています。	・保護者から質問が出た場合、その都度丁寧に説明をしていきます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・相談があった場合は連絡帳や送迎時に対応しています。要望があれば電話や面談にて対応をしています。	・これからもより良い支援ができるようにスタッフの資質の向上に努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	・保護者会等の開催はありませんが、スタッフが間に入り、必要な情報を共有できるようにしています。	・ご要望に応じて開催の方法を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・苦情があった場合には第一に内容の理解に努め、問題の解決に向け速やかに対応させていただいております。	・これからも継続していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・SNSにて活動の様子を発信しています。	・より多くの方に見いただけるように周知していきます。
	35	個人情報に十分注意している	○		・全職員が秘密情報の保持について誓約書を書いています。	・定期的に個人情報の取り扱いについて職員間で確認していきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・構造化や情報の図示などを行っています。	・配慮事項を職員間で共有し、スムーズに意思の伝達ができるようにしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・現在は行っていない。	・今後開催ができるように方法を検討していきます。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		・定期的に作成し、訓練も実施しています。	・これからも継続していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・毎月、非常災害を想定した避難訓練を実施や防災についての学習を行っています。	・これからも利用者の方が非常災害を身近に感じ、自分で考えられるような訓練や学習を実施していきます。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待になる行為について職員間で確認しています。	・今後も定期的に職員間で虐待になる行為を確認し、意識の向上を図っていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		・身体拘束について職員間で確認しています。現在該当する利用者はいません。	・必要に応じて保護者への事前説明をしっかりと行い、支援計画に記載します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・保護者からアレルギーの情報を得て、対応方法も確認しています。	・必要であれば医師の指示書をいただくように対応します。 ・職員間での情報共有をより進めていきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・各スタッフがすぐに手に取って振り返るように事業所内に格納してあります。	・ヒヤリハットがおこってしまった場合には職員間で共有をし、対策を考えた上で書類を作成しています。